

＜伊万里地区認知症の人とその家族の会「ひまわり会」様＞

上映日：2025年09月20日（土） 場所：伊万里市民図書館AVホール（佐賀県伊万里市）



参加者から『何度でも見たい！』の声 共生社会への意識高まる

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

「ひまわり会」が昨年発足25年になり、本来なら昨年度に記念イベントを開催したいと思っていましたが実施できずにおりました。その後、昨年11月に「国際ソロプチミスト日本財団」様から、「ボランティア大賞」を受賞しましたので、1年遅れの発足25周年記念と受賞記念イベントとして、9月の「認知症月間」にあわせて映写会を開催しました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

「ひまわり会」の世話人会メンバー11名が中心で推進しました。

●地域の方や関係者にどのように告知をしましたか？

「ひまわり会」広報誌で案内（約120名）、市内の公共施設や福祉施設・病院などへのチラシ配布とポスター掲示、伊万里市の広報誌への案内掲載などを行いました。

●後援などをどのように依頼し、どういった協力を得られましたか？

「ひまわり会」活動について発足当初からご支援・ご指導いただいている、伊万里市、伊万里市社会福祉協議会及び伊万里市ボランティア連絡協議会に後援をお願いし、伊万里市の広報誌に開催情報を掲載いただき、映写会鑑賞申し込みの受付対応や、駐車場で車の誘導管理などへの職員の方の派遣をしていただきました。

●資金はどのように捻出しましたか？

昨年11月に「国際ソロプチミスト日本財団」様から「ボランティア大賞」をいただいた時の助成金で、今回の開催費用を賄うことが出来ました。（鑑賞代は無料）

●上映会当日の様子や反響を教えてください。

殆どの参加者から「大変良かった！」「何度でも見たい！」という感想をもらいました。

また学生や子供達にも是非見てもらいたかったと言うコメントも、多数ありました。

参加者は、高齢（70歳以上）の女性が大半で、男性の参加者や現役世代の参加者が少なかったのが残念でした。

●今回の活動を通じて、地域作りや今後の活動に繋がりましたか。

「認知症の日」と「手話言語の国際デー」が9月という事から、「オレンジ色のライトアップ」と「ブルーライトアップ」の点灯式を、今年初めて9月16日に合同で行ったので、今回の映写会にもたくさんの聴覚障がい者の方が鑑賞されたことで、共生社会の実現を目指す認知症基本法への意識が、より高まったように思いました。

ご担当者：黒川憲一さん

＜ひまわり会＞

約120名の会員（認知症の人とその家族や家族を支援する仲間）が、「認知症カフェ」・「介護の悩みかたろう会」・「認知症サポーター養成講座の開催」などを推進しています。